

教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

1 日 時

令和4年10月5日（水）

開会 9時30分

閉会 9時44分

2 場 所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席委員 木平芳定教育長、大森達也委員、北野誕水委員、栗須百合香委員、
富樫健二委員

欠席委員 なし

4 出席職員

教育長 木平芳定（再掲）、副教育長 上村和弘

次長（教職員担当）佐藤史紀、次長（学校教育担当）井ノ口誠充、

次長（育成支援・社会教育担当）中川実、次長（研修担当）水野和久

教育総務課 課長 森岡賢治、班長兼企画員 米澤道隆

教職員課 課長 野口慎次、班長 若宮一哉、班長 松島克幸、

主幹兼係長 武藤誠、主査 鈴木良典

5 議題件名及び採択の結果

件 名	審議結果
議案第41号 職員の人事異動（市町立小中学校）について	原案可決

6 報告題件名

報告1 令和5年度三重県公立学校教員採用選考試験
第2次選考試験の結果について

7 審議の概要

・開会宣言

木平芳定教育長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

5名中5名の委員の出席により会議が成立したことを確認する。

・**前回審議事項（9月20日開催）の審議結果の確認**

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

・**議事録署名者の指名**

富樫委員を指名し、指名を了承する。

・**会議の公開・非公開の別及び進行の確認**

議案第41号は人事に関する案件であるため非公開とすることを決定する。

会議の進行は、公開の報告1の報告を受けた後、非公開の議案第41号を審議する順番とすることを決定する。

・**報告事項**

報告1 令和5年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の結果について（公開）

（野口教職員課長説明）

報告1 令和5年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の結果について
令和5年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の結果について、別紙のとおり報告する。

令和4年10月5日提出 三重県教育委員会事務局教職員課長

次のページをお願いします。試験の結果の概要を書いております。第1次試験については、7月23日に筆答試験を行い、受験者2,174名のところ合格者1,326名となっております。それから第2次試験でございますが、8月17日に技能・実技試験を、20日に論述試験をしまして、22日から29日までの間に面接試験を行いました。その結果として、受験者1,231名のうち合格者511名となっております。倍率は全体で昨年度は4.7倍あったところ、今年度は4.3倍となっております。詳細は、以下のとおりとなっております。

「3 育児休業等代替任期付講師・任期付養護助教諭・任期付学校栄養職員」ですが、これについては名簿登載者数が80名となっております。県立学校については昨年度から実施しておりますが、小中学校については今年度初めて実施をさせていただきました。

この試験を今年度させていただいた時に、コロナウイルスの感染者等への対応について2,000人以上が受験する試験を安全に実施するために近府県の状況も参考にしながら、感染者には受験を控えていただくよう、今年度お願いしてきたところです。

来年度の試験については、受験者の受験機会をできるだけ確保するという観点もありますので、コロナ感染法上の取り扱いもふまえて、他の都道府県の見直しの状況も参考にしながら、2次試験について日程を調整したうえで再試験を行えないかなど、試験の実施方法について検討していきたいと思っております。

また、受験者も減少しているということもありますので、増やすような対策についても、県内の大学の教員採用の関係者とも情報交換をするなど検討しまして、2月にまた試験の見直しについてはご報告をしたいと考えております。2ページ目以降には、今年度実施した試験の状況の詳細を書かせていただいております。説明は以上です。

【質疑】

教育長

報告1はいかがでしょうか。

大森委員

今年はこれで結果が出てしまったんですけども、次年度の特に現大学3年生は、1年生の最初からオンラインでほぼ学校に行っていない状態で教育を受けてきて、詳しいことは分かりませんが、ちょっとまた違う学生のタイプになっているので、教員免許を取るにしても授業の感覚が、教員養成系についてはいいかもしれませんが、それ以外の学部の教職員課程ではオンラインの関係で取れてない可能性があるのも、どれぐらいの数が教職の免許申請をするかっていうのは私たちも分からない。それからご存知のように、ただでさえ教職課程を進もうと思うと、かなりの単位を取らないといけないという状況で、1年目がオンラインで課題課題という中で育ってきた学生たちですので、かなり教員になる方向へのキャンペーンをしていってもらわないと厳しいのかなというふうに思います。

それと同時に今回の4年生を見てもそうなんですけど、就職が滅茶苦茶いいんです。実はそのオンラインで、コロナでと言われながら、学生時代に力を入れたことが書けないと言われていながらもかわらず、就職はほとんど変わってない。逆に、やっぱりこの人手不足を補うために取っているという現象もあって、次年度うまくいけばいいなどは思っていますが、そういう意味で情報提供させてもらいたいのと、三重県の高校3年生の受験生は大学進学で県外にかなり行って、名古屋地区にもかなり行っています。私の大学でも三重県の子たちが教職課程を取ってますが、北勢の子たちは他府県というか愛知県を受ける子もいますので、もし可能であれば名古屋とか、あるいは大阪・京都地区の大学への広報というの、これまでもされてるかもしれませんが、より一層されていく必要があるのかなと思います。

大体もうどこの教職支援課も、おそらく大体どれぐらいの数が来年は教員免許を取るかっていうのは分かっていますので、そういう調査をしてもらえれば、大体来年度の数がどうなってくるかって言うのも読めるかなと思います。直感的に大学の現場でいると、オンラインで今までと雰囲気が変わるところに企業もかなり焦っているのも、インターンと言いながら、本当にエントリーシートや志望動機を書かせて採用に入っていますので、そっちに流れてしまうところへ国家公務員の総合職も2週間前倒しで4月の中旬になって、地方公務員の方もどうなってくるかって思うと、さらに遅くなり来年厳しいのかなというふうに思いますので、広報の方をぜひともお願いしたい。

野口課長

PRもさせていただきたいと思います。県内の教養課程のある大学はもちろん、関係者と情報交換をしながら、課題や受けなくなっている状況も調べさせていただくということ、愛知や関西からも結構受けに来ていただいている方もおりますので、状況も見ながら今も愛知の大学にPRをしているんですけども、そういうところにも力を入れてい

きたいと思っております。

富樫委員

私も教員養成系にいて、教員志望の子がちょっと減ってきているというのは肌で感じています。学部の方でも附属の先生方に教員の魅力を語ってもらうような、それも大学1年生の時に若い先生方が教員の魅力を語るようなものを今年度中にやる予定なんですけど、県として何か具体的な教員志望の中高生を増やすような対策とか計画はありますか。

野口課長

今までは大学4年生が中心だったんですけど、今年の3月から3年生や2年生の若い方にも勉強し始める時から魅力を語った方がいいかなと思いPRに取り組んでいます。また、コロナで行けていないところもあるんですけど、高校にも機会を捉えてPRをさせていただければというふうには思っております。

富樫委員

小学校免許の単位取得の緩和といたしますか、免許の改正が文科省から出て、小学校免許を出せるような大学がこれから増えてくると思うんですけども、そうなると愛知県の私立大学なんかは小学校免許課程を作って、三重県から愛知県に出て行ってしまわないかと危惧しているので、そういったことも少し懸念があると思っております。

大森委員

その点があります。中京大学のスポーツ科学部も小学校の2種ですけど、通信と並行で取れるようにしてて、体育教員プラス小学校教員で取らせていますが、結構小学校に流れている学生もおりますので、そういう意味ではチャンスっていうか、他の愛知県内のスポーツ科学系の大学で小学校教員は取らせているなと思います。

野口課長

ここでいただいた情報もふまえて、PRも頑張っていきたいと思っております。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

議案第41号 職員の人事異動（市町立小中学校）について（非公開）

野口教職員課長が説明し、委員審議のうえ採決の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・閉会宣言